

地区計画を策定する理由（宇陀市）

1. 区域の概要

本地区は、県道榛原菟田野御杖線に接続する市道に面し、地域外とのアクセス環境に恵まれている。また、伊那佐地域の中央部に位置し、かつて体育館や集会所、農村公園、幼稚園など生活利便施設が集積する地域コミュニティの中心であった。

また、伊那佐地域は、その一部が、奈良県の特定農業振興ゾーンにも指定されるなど、有機農業等をはじめとする市内でも有数の農業生産地域であり、一方、人口減少や高齢化が進んでおり、地域のコミュニティ、地域産業である農業等の維持が課題となっている。

2. 策定の理由

本地区は、有機農業等をはじめとする市内でも有数の農業生産地域であり、宇陀市都市計画マスタープランにおいて「産業ゾーン」として位置付けられ、都市活力の維持・向上のための産業基盤整備や新規産業の誘導に向けた受け皿の確保等を目指している。

このようなことから、かつて整備された建築物や土地を活用し、市内の「農」や「食」に関連する活動の振興拠点にするとともに、交流促進や雇用創出など伊那佐地域の活力向上に寄与するよう、適切な土地利用の規制・誘導等を行うため、地区計画の指定を行うものである。